

# 議事録

第53回			
件名	大分市都市計画審議会		
出席者	委員18名、事務局14名、傍聴者2名	日時	令和5年7月28日(10:00)
		場所	コンパルホール3階 多目的ホール
【次第】			
1. 開会			
2. あいさつ			
3. 議事録署名委員の指名			
4. 議事・質疑応答・採択			
5. 閉会			
【議事について】			
第1号議案 大分都市計画ごみ焼却場の変更(大分市決定)			
~~~~議案説明~~~~			
1. 変更の経緯、理由、変更箇所について			
2. これまでの法手続きの経過、今後の流れについて			
《説明要旨》			
・現在稼働している福宗環境センター清掃工場・リサイクルプラザ、佐野清掃センター清掃工場(大分市東部清掃センター)は稼働から長期間が経過し、施設の故障による施設整備が増加するなど、ごみの適正処理に支障を及ぼすことが懸念されることから、新たな一般廃棄物処理場の整備を進めるため、新環境センターを都市計画決定したい。			
・素案縦覧期間中、公述申出なしのため、公聴会での意見陳述なし			
・案縦覧期間中、意見書の提出なし			
《主な質疑応答》			
(質問) 煙突の高さを低くすることにより、周辺地域の方々へ影響がないか懸念している。煙突の高さを低くすることによる環境の影響について、詳しく説明をお願いしたい。			
(回答) 煙突の高さについては、周辺への排気ガスの影響、景観の影響の2点に注目して検討を行った。地形がくぼ地であることから空気の逆転層などの発生により排気ガスが区域内に残る可能性なども考慮しながら、煙突の高さを59m、80m、100mの3つに設定して検討を行った。その結果、いずれについても排気ガスによる大きな変化はなく、周辺区域へ適切に排出されることが確認されたため、景観への影響が最も小さいと考えられる59mを採用した。			
(質問) 市民向けの啓発施設などについては、より分かりやすい施設となるよう、建物の外壁のデザインを工夫してはいかがか。			
また最終的な名称を新環境センターとすると、20~30年後に違和感が生じてしまうため、ほかの名称を検討してはいかがか。			
(回答) デザインについては今後事業者と協議を行い、より分かりやすいデザインとなるよう検討する。名称については条例制定の際に正式に決定するため、今後協議を進める。			
《審議結果》			
・原案どおり承認			
(10時40分 閉会)			